

安全性について

皮膚一次刺激性実験

人間よりデリケートなウサギを用いた実験で「無刺激物」の範疇にあると認められた。

皮膚反応の採点結果

観察時間 (時間)	試験動物①		試験動物②		試験動物③	
	無傷	有傷	無傷	有傷	無傷	有傷
1	2/0	2/0	2/0	1/0	2/0	2/0
24	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0
48	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0
72	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0

結果は紅斑・痂皮の順に示した。

眼刺激性試験

人間よりデリケートなウサギを用いた実験で「無刺激物」の範疇にあると認められた。

試験動物②の採点結果

観察部位		採点結果			
		1時間	24時間	48時間	72時間
(1)角膜	混濁の程度 (A)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	混濁部面積 (B)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
(2)虹彩	(A)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
(3)結膜	発赤 (A)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	浮腫 (B)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	分泌物 (C)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
評点(1) =	$A \times B \times 5$	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
評点(2) =	$A \times 5$	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
評点(3) =	$(A+B+C) \times 2$	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
合計評点	$((1)+(2)+(3))$	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

括弧内に対照眼の結果を示した。

-: 判定せず

急性経口毒試験

人間よりデリケートな雄マウスを用いた実験で異常及び死亡例は認められなかった。

体重変化

投与群	投与前	投与後 (日)	
		7	14
試験群	27.2 ± 0.9 (5)	30.6 ± 1.6 (5)	33.6 ± 2.7 (5)
対照群	27.2 ± 0.9 (5)	30.5 ± 0.6 (5)	33.8 ± 0.7 (5)

体重は平均値±差で示した。(単位:g)

括弧内に動物数を示した。

食品適合性試験について

分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
次亜塩素酸ナトリウム	—	—	1	—
性 状	適	—	1	—
確認試験(1)	—	—	1	—
ナトリウム塩(1)	適	—	1	—
次亜塩素酸(1)	適	—	1	—
次亜塩素酸(2)	適	—	1	—
次亜塩素酸(3)	適	—	1	—
確認試験(2)	適	—	1	—
確認試験(3)	適	—	1	—
含 量	適（有効塩素4.3%）	—	1	—
性状（適否の判断基準外）	—	—	1	—
形 状	液体	—	1	—

注1 食品添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）の第2添加物。

「プリート」は、食品添加物を原料としています。
そしてその原料である次亜塩素酸ナトリウムは、食
品衛生法に基づいて定められた「諸君・添加物等の
規格基準」に適合しています。